

シラバス

指定番号 45

商号又は名称: 学校法人 誠優学園

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える『在宅におけるケア』等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるように指導を行う。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	3	3		講義内容 ・ 130 時間の講習内容、構成 10 科目相互の関連性の理解 ・ 介護人材のキャリアパスイメージの理解 ・ 介護保険導入の背景と制度の基本についての理解
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3		・ 居宅、施設におけるそれぞれの仕事内容の理解 ・ 現場経験者講師からの、実際のサービス提供現場における体験談等 ・ サービス提供の開始から、実際にサービスが提供されるまでを時系列的に説明し、また、チームケアの重要性の理解、様々な社会資源活用の理解 ・ グループワーク (DVD 観賞後のディスカッション) 実際のサービス提供現場の DVD
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	視聴覚教材 (DVD)、DVD プレイヤー、テレビ
------------	---------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 45

商号又は名称:学校法人 誠優学園

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービス提供するにあたっての基本視点を理解させる。また、高齢者虐待・身体拘束に対する理解及び対応方法がについて理解させるよう指導を行う。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
③ 人権と尊厳を支える介護	3	3		講義内容 <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援による高齢者の尊厳保持が介護保険制度の目的であることの説明。 ・福祉理念であるノーマライゼーションの定義と、バリアフリー、ユニバーサルデザインの関連性の理解。 ・QOLの考え方とICF ・個人の尊厳と諸制度との関わり。 ・高齢者虐待、身体拘束の理解と予防、防止。 ・成年後見制度、日常生活自立支援事業の説明。 演習内容 <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討からグループディスカッションと講師との討議「ノーマライゼーションとは？」
④ 自立に向けた介護	3	3		講義内容 <ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊厳、権利擁護を基盤とした自立した生き方とQOLの確保の重要性。 ・ICF概念の理解。 ・自立支援と介護予防の考え方
⑤ 人権啓発に関わる基礎知識	3	3		講義内容 <ul style="list-style-type: none"> ・人権とは ・人権擁護への取り組み ・身近にある人権について
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 45

商号又は名称: 学校法人 誠優学園

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	① 介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気付き、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解させる。 ② 介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑥ 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	2		講義内容 ・施設と居宅という介護環境の特性の理解と多職種連携（チームケア）の在り方、それぞれ専門職の特性の理解 ・地域包括ケアの役割と機能の理解
⑦ 介護職の職業倫理	1	1		講義内容 ・介護サービスの公共性と職業倫理の理解。 ・利用者、家族に対する関わり方についての理解 ・社会に対する責任の理解。介護専門職と倫理規定の内容把握
⑧ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	2		講義内容 ・介護サービスを提供していくうえで必要な安全確保の視点 ・介護事故を予防するために必要な要因、原因のポイント ・事故を予防するためのリスクマネジメントの考え方や、リスクの分析方法や視点の理解 ・事故発生時の対応と報告の仕方、情報共有の重要性 ・感染症の理解と感染予防の基礎知識
⑨ 介護職の安全	1	1		講義内容 ・介護職の健康管理とストレスマネジメントについて ・介護職員の労働の権利と労働諸法の理解 演習内容 ・腰痛予防に関して、腰痛予防体操等の実施
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 45

商号又は名称: 学校法人 誠優学園

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携			
指導目標	③ 介護保険制度、障がい者総合支援制度を担う一員として、介護保険制度の理念に対する理解を徹底する。 ④ 利用者の生活を中心に考えるという視点を共有し、その生活を支援するための介護保険制度、障がい者総合支援制度、その他制度のサービスの位置づけや、代表的サービスの理解を促す。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑩ 介護保険制度	3	3		講義内容 ・ 介護保険制度創設の背景、目的および動向 ケアマネジメント、予防重視システム、地域包括センターの設置、地域包括ケアシステムの推進 ・ 介護保険制度の仕組みの基本的理解 保険制度としての基本的しくみ、介護保険制度における給付内容と種類、介護認定、財政負担
⑪ 医療との連携と リハビリテーション	3	3		講義内容 ・ 介護職が実施できない医療行為と実施できる非医療行為の理解 ・ 介護職の医行為の問題点と今後の課題について ・ 医療、看護職とのチームケアの必要性の理解 ・ リハビリテーションの理念、目的及び高齢者のリハビリテーション、地域リハビリテーションについて ・ 事例を通して、脳卒中モデルの急性期、回復期、維持期のリハビリテーションの流れの理解
⑫ 障がい者総合支援制度およびその他制度	3	3		講義内容 ・ 障がい者の自立と社会参加の意義と役割について ・ 我が国の障がい者福祉制度の歴史と障がい者福祉制度の理念についての理解 ・ 障がい者総合支援制度の仕組みと基礎的理解 ・ 成年後見制度 ・ 日常生活自立支援事業 ・ 障がい者虐待防止法
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 45

商号又は名称：学校法人 誠優学園

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	⑤ 基本的なコミュニケーション技術を理解し、活用できる。 ⑥ 相手の心身機能に合わせたコミュニケーションが行えるようになる。 ⑦ 家族や利用者の葛藤や心理状況を理解し、相談援助後術の重要性と持つべき視点が理解できる。 ⑧ チームにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解するとともに、記録等を作成する介護職一人ひとりの理解が必要であることへの気付きを促す。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑬ 介護におけるコミュニケーション	3	3		講義内容 <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスにおけるコミュニケーションの目的と意義、役割 ・基本的なコミュニケーション技法の理解と自己確知、及び言葉遣いについて 言語、非言語、質問技法、要約、明確化、SOLER ・利用者、家族とのコミュニケーションの実際 ・家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と、介護における相談援助技術の重要性について ・様々な障がいに応じたコミュニケーション技術の実際 視力障がい、聴力障がい、構音障がい、失語症、認知症の方に対するコミュニケーション留意点 <DVD 介護スタッフの接遇マニュアル 日本経済新聞出版社制作・著作>
⑭ 介護におけるチームのコミュニケーション	3	3		講義内容 <ul style="list-style-type: none"> ・チーム（多職種間）におけるコミュニケーションの有効性と重要性について ・介護実践においての記録の重要性、記録の意義と目的。それにとともなう観察と情報収集の重要性理解、会議の必要性 ケース記録、個別援助計画、ヒヤリハット報告書 相談・報告・連絡の重要性 ・コミュニケーションを促す環境づくり ・アドボガシーの理解と必要性 <DVD 介護スタッフの接遇マニュアル 日本経済新聞出版社制作・著作>
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	視聴覚教材 (DVD) 「介護スタッフの接遇マニュアル」 日本経済新聞出版社制作・著作 DVD プレーヤー、テレビ
------------	--------------------------------------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 45
商号又は名称: 学校法人 誠優学園

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	⑨ 加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することができ、自らが継続的に学習すべき事項であることを理解させる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑮ 老化に伴うこととからだの変化と日常	3	3		<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴理解とそれらがどのように日常生活に影響するかの理解 エリクソン、フロイト、ピアジェによる発達段階説 ライチャード、ニューガーデンによる高齢期における人格特性、防衛反応・回復力・適応力の変化、 <p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講生の発達段階における変化をまず理解し、高齢期の変化との差をディスカッションを行う。疑似体験でのグループワーク。
⑯ 高齢者と健康	3	3		<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の身体的、精神的機能の変化と病気との関連、日常生活柄の影響 ・ 高齢者に多い病気とその日常生活の留意点 循環器障がい、老年期における精神疾患、誤嚥性肺炎、沈下性肺炎、感染症 ・ 保健医療職との連携
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 45

商号又は名称: 学校法人 誠優学園

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解させる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑰ 認知症を取り巻く状況	1	1		講義内容 ・認知症ケアの理念や利用者中心というケアについて ・「できること」に着目したケア、その人らしさを生かすケアの形としてのパーソン・センタード・ケアの考え方
⑱ 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	2		講義内容 ・認知症の定義、診断基準等認知症の基礎知識 ・認知症の種類と原因について (アルツハイマー型認知症・血管性認知症・レビー小体型認知症・前頭側頭型認知症・その他の認知症) ・中核症状と行動、心理症状(BPSD)の違いに ・認知症の薬物療法について
⑲ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	2		講義内容 ・行動、心理症状(BPSD)の対応方法 ・行動、心理症状(BPSD)が誘発される介護職の不適切なケアと適切なケアとは ・認知症の中核症状による影響を踏まえた生活支援の具体的な対応
⑳ 家族への支援	1	1		講義内容 ・認知症高齢者を介護する家族介護者の負担感やその要因の理解と、家族介護と専門的ケアの違いについて ・家族の気持ちや、家族が受けやすいストレスについて ・認知症をもつ当事者や家族介護者とコミュニケーションを深め、その願いや介護職へ期待されていることとは <DVD 「ハルさんの物語～ある高齢者と家族～」 社団法人日本介護福祉士会>
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	視聴覚教材 DVD 「ハルさんの物語～ある高齢者と家族～」 社団法人日本介護福祉士会 DVD プレーヤー、テレビ
------------	-------------------------------------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 45
商号又は名称: 学校法人 誠優学園

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	障がいの概念と ICF、障がい者福祉の基本的な考え方について理解させ、介護における基本的な考え方について理解させる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
21 障がいの基礎的理解	1	1		講義内容 ・障がいの概念と ICF の考え方 ・障がいの受容プロセスについての理解
22 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	1		講義内容 ・身体障がい、知的障がい、精神障がいの日常生活への影響と、心理や行動への影響 ・言語聴覚障がい、視覚障がい、発達障がい、高次脳機能障がい、内部障がい、難病の基礎的知識
23 家族の心理、かかわり支援の理解	1	1		講義内容 ・家族の心理の一般的過程、家族の負担とその要因、家族支援について 視聴覚教材 (DVD) 「障がい者と家族関係の理解」
(合計時間数)	3	3		

使用する機器・備品等	視聴覚教材 (DVD) 「障がい者と家族関係の理解」、DVD プレーヤー、テレビ
------------	------------------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 45

商号又は名称：学校法人 誠優学園

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	① 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助などの介護が実施できるようになる。 ② 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術た知識を習得させる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
24 介護の基本的な考え方	6	6		講義内容 ・理論と法的根拠に基づく介護の理解 (ICF の視点に基づく生活支援、我流介護の排除) ・法制度下における介護サービス理解
25 介護に関するこころの仕組みの基礎的理解	3	3		講義内容 ・加齢に伴う様々な変化とその心理 ・高齢期のパーソナリティと適応 ・高齢期の喪失体験の復習 (老化の理解で学んだ) と自己有用感についての理解 ・自己実現と生きがい
26 介護に関するからだの仕組みの基礎的理解	3	3		講義内容 ・人体各部の名称と働き ・運動動作に関する基礎知識 ・神経系に関するからだのしくみ ・バイタルチェック (脈拍、血圧、体温、呼吸) の意義と観察ポイント
27 生活と家事	6	6		講義内容 ・生活における家事支援の必要性について ・利用者の望む衣食住の生活支援について ・家事支援と自立支援、QOL の向上の関係性の理解 ・介護サービスとしての家事支援の理解 演習内容 簡単な裁縫の実施と指編み
28 快適な居住環境整備と介護	6	6		講義内容 ・住居の役割と機能を理解し、高齢者や障がい者にとって快適な居住整備について考える ・バリアフリー、ユニバーサルデザインの理解 ・住宅改修や福祉用具の基礎知識 演習内容 「高齢者や障がい者が快適な居住環境を考えてみよう」 実際に簡単な平面図の作成をグループで行い、発表を行う
29 整容に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		講義内容 ・日常生活の中での整容の意味について ・整容の支援技術 (清拭、目・鼻・耳・爪の清潔、体調確認等、身じたく、衣類着脱のポイント) ・口腔ケアの支援技術 実技演習内容 (実技演習においては講師 2 名で対応) ・着脱介助 着脱健康原則の理解 ① パジャマの着脱 (椅子上、ベッド上臥床) ② 寝巻きの着脱 (ベッド上臥床) ・全身清拭 ベッド上での全身清拭とケリーパッドでの洗髪介

				<p>助 DVD 長寿社会開発センター介護職員初任者研修テキスト 介護技術解説 DVD</p>
30 移動・移乗に関したところからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移乗、移動に関する基礎知識 ・ 移動、移乗に関する用具とその活用方法 ・ 利用者、介助者が共に負担の少ない移乗、移動とは ・ 残存機能の活用と自立支援、ボディメカニクスの基本原則 ・ 褥瘡予防 <p>実技演習内容（実技演習においては講師 2 名で対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ベッド上移動①水平移動②上方移動③下方移動） ・ ベッド上体位変換①仰臥位⇒側臥位②仰臥位⇒長座位③長座位⇒端座位④①～③の逆における介助 ・ 椅子（ベッド端座位）からの立ち上がりと座る介助 ・ 移乗介助①ベッド⇒車いす②車いす⇒ベッド 自立を促す移乗介助と全介助の方法 ・ 歩行介助①麻痺設定での杖なし、杖歩行介助②白杖の使用方法和、視覚障がい者の歩行介助 ・ 車いす、歩行器の移動介助 <p>DVD 長寿社会開発センター介護職員初任者研修テキスト 介護技術解説 DVD</p>
31 食事に関したところからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事に関する基礎知識（食事の意味、咀嚼と嚥下、脱水について、低栄養について） ・ 食事環境の整備、食事に関した自助具等の活用方法と食事形態、障がい別介助方法とからだのしくみについて <p>実技演習内容（実技演習においては講師 2 名で対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事介助、水分補給（椅子とベッド上） ・ 口腔ケアの実際 <p>DVD 長寿社会開発センター介護職員初任者研修テキスト 介護技術解説 DVD</p>
32 入浴、清潔保持に関したところからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴、清潔保持に関する基礎知識（皮膚の生理的機能や入浴における身体への効果と負担、羞恥心への配慮等） ・ 清潔行動のしくみと清潔保持のための安全な援助方法 <p>実技演習内容（実技演習においては講師 2 名で対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特殊入浴と個浴の体験入浴 ・ ベッド上での手浴と足浴体験 <p>DVD 長寿社会開発センター介護職員初任者研修テキスト 介護技術解説 DVD</p>
33 排泄に関したところからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 排泄に関する基礎知識（排泄介護の意味、様々な排泄環境と福祉用具の活用方法等） ・ 排泄障がいの理解とケアのポイント（排尿障がい、排便障がい） ・ 自立に向けたアセスメントと排泄介護 <p>実技演習内容（実技演習においては講師 2 名で対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレ誘導 障がい者トイレでの誘導体験 ・ ポータブルトイレ誘導 ・ 差し込み便、尿器の使用方法和 ・ オムツ介助の方法和陰部洗浄 <p>DVD 長寿社会開発センター介護職員初任者研修テキスト 介護技術解説 DVD</p>

34 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識（睡眠とは、高齢期の特徴、安眠の支援、安楽な姿勢と体位） ・ポジショニングの必要性 ・寝具の清潔とベッドメイキングについて <p>実技演習内容（実技演習においては講師2名で対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドメイキング ・安楽な姿勢と体位、ポジショニングの実際 <p>DVD 長寿社会開発センター介護職員初任者研修テキスト 介護技術解説 DVD</p>
35 死にゆく人に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終末期ケアに関する基礎知識（終末期とは、高齢者の死に至る経過、臨終時の兆候と介護、介護従事者の基本的態度） ・家族ケア（グリーフケア）の重要性の理解 ・緩和ケア、トータルペインの理解 <p>グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリザベスキューブラー・ロス著「死ぬ瞬間」からの抜粋部分を読み、その内容に関してグループで討議を行う。
36 介護過程の基礎的理解	6	6	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の基礎的理解 介護過程の目的・意義・展開 介護過程とチームアプローチの関係性と重要性理解
37 総合生活支援技術演習	6	6	<p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例による展開を行う <p>演習1</p> <p>男性、右片麻痺、失語症の高齢者に対する演習 起居動作と排泄、着脱時における展開</p> <p>演習2</p> <p>女性、左片麻痺、半側空間無視の高齢者に対する演習 起居動作と排泄、着脱時における展開</p>
(合計時間数)	75	75	

使用する機器・備品等	<ul style="list-style-type: none"> ・実技演習に関しては、高齢者疑似体験セットを活用する。 ・視聴覚教材（DVD 長寿社会開発センター介護職員初任者研修テキスト 介護技術解説） ・車椅子、介護用ベッド、シーツ、枕、衣類、杖、白杖、タオル類、排泄関連用具、アイマスク 歯ブラシ、コップ、櫛、食事用自助具、洗面器、ピッチャー等
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 45

商号又は名称: 学校法人 誠優学園

科目番号・科目名	(10) 振り返り		
指導目標	研修全体を通して振り返り、この研修で学んだ知識と技術の再確認を行うとともに、就職後も継続して学習を行っていく姿勢と課題について認識をさせる。		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数
38 振り返り	2	2	
39 就業への備えと研修終了後における事例	2	2	
(合計時間数)	4	4	

使用する機器・備品等	視聴覚教材 (DVD「実践スーパービジョン1・2」中央法規出版) DVD プレーヤー、テレビ
------------	---------------------------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。